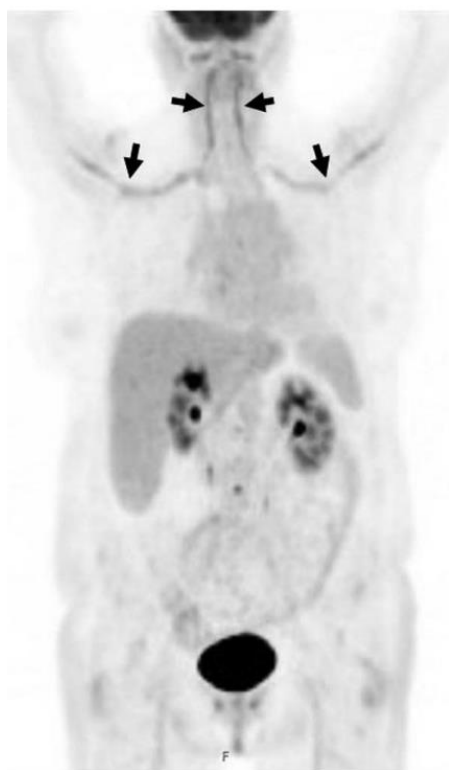


膠原病・リウマチ疾患とPET検査

- PET検査は癌検診などで広く普及して、名前を聞くことも多いと思います。
- 膠原病・リウマチ疾患の中では、**大血管炎(巨細胞性動脈炎, 高安病)**に保険診療で撮影が認められています。
- FDG(放射性物質を含んだブドウ糖)を点滴で投与して、撮影します。病気の活動性が高い部位にFDGが取り込まれるので、どこにどんな病気があるかわかります。



- 大血管炎の診断時や再発時には、PET検査は非侵襲的で有用です。
- 副作用やアレルギー反応はほとんどなく、被爆量も少ない安全な検査です。
- 当院では、予約状況にもよりますが数日以内に施行できることが多いです。

巨細胞性動脈炎のPET検査

注意点

- 投与する薬剤の関係で、検査当日のキャンセルはご遠慮ください。
- 検査当日は体から微量の放射線を発しますが、翌日には消失します。
- 高額な検査です。3割負担で約30,000円になります。

※ 検査の詳しい流れや注意点は予約時にお伝えします。